

長崎は今日も異国だった

古くから異国との交流を持ち、江戸・鎖国時代には日本で唯一の国際貿易港だった長崎。現在でも、あちらこちらに異国文化を見ることができます。

今回は、まちの特徴を活かしたまちづくりに取り組んでいる、長崎県長崎市と佐世保市をご紹介します。



わからんまち体験 ～長崎さるく博'06～

2006年4月1日から10月29日までの約半年間に掛けて行われ長崎さるく博'06。

“さるく博”って何？という方に、歩きながら長崎の観光や見聞を深めるというコンセプトを持った「日本初のまち歩き博覧会」です。

「さるく」とは長崎弁で「ぶらぶら歩く」という意味があるそうです。

ジャンルは、長崎に関する歴史・経済・風俗・文化・芸能・観光・スポーツと幅広く、内容も基本的なものから、地元の人ですら知らないような貴重なものまで様々です。また、これまでの博覧会と違い特徴的なものでした。

大掛かりな施設などを建設することなく、コストも少なく本来の地域性を利用した博覧会です！

参加に関するわずらわしい手続きもほとんど無く、行動パターンも多いので気軽に楽しめます！

コースも非常に多く、ほとんどが無料・低料金で参加できるため、参加者の自由度が極めて高い！

地域の住民がガイドを行うといった地元が積極的に参加しています！！

地域のみなさんにより大成功だったさるく博は、平成19年4月1日より、“長崎さるく”として再スタートするそうです。

ちょっとしたきっかけが、たくさんの人達を夢中にさせてしまうのですね(^0^)



「さるく博」のコースマップ
消費カロリーも書いてあるので、脱メタボに是非どうぞ！（ちなみに参加したコースの消費加り-は 201kcal でした）



ボランティアの方がコースを案内してくれました。地域のみなさんも楽しんでいるのが伝わってきますよね！！



坂のまち、長崎らしい、道路のエレベーター(斜行と垂直の2種類2ります)
なんと！エレベーターが都市計画道路に位置づけられています。

こちらが“斜行”
高低差は50mで17人乗りです。



こちらは“垂直”
高低差は18mで11人乗りです。



住宅地のほとんどが山の斜面を利用して建てられています。なぜ??それは、市の地形がすり鉢状になっているからなんだそうです。



出島

ここで少し、長崎の歴史を勉強してみましょう！
鎖国体制を執っていた江戸時代。江戸幕府公認の国際貿易港「出島」をもつ長崎は、オランダや中国との交流がありました。そのせいか、街並みや行事も中国やオランダに似ているものもあります。長崎帆船まつり(4月)や孔子祭(9月)などお祭りの時期にも訪れてみたいですね。



長崎市内を通る路面電車



平日でもこのにぎわい！！



眼鏡橋



中華街もにぎわっています。



景観に配慮した交番

「さかんまち」を住みやすくしたい！

「さかんまち」は長崎市の大きな特徴です。見晴らしもよくて、空気もきれい・・・なかなかの住環境ですが、「階段を上るのがきつい」「車が通らない」など、生活するうえで大変なことが多いのも現実です。

「さかのまち」を本当に住みやすくするためには、新しいまちづくりに取り組んでいく必要があります・・・。

ということでつくられたのが、「長崎市斜面市街地の整備に関する条例」です。

この条例は、「さかのまち」住む人が、自分たちの手で進めるまちづくりを応援するためにつくられました。

しかし、つくられたのは条例だけではありません！バスの乗り入れが困難な地区と最寄の交通拠点を結ぶ乗合タクシー・小型バスや、写真で紹介したエレベーターの道路など、住みやすいまちづくりが進められています。

(長崎市のHPより)

今号の問題です！

長崎は、日本初の
が走った
(1865年)場所なんだ
そうです。さて、の
の中に入る漢字5文字は
一体何でしょう？



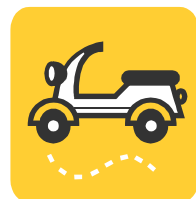
前号は、「“羽州街道”と呼ばれ始めたのはいつごろからでしょうか？」

という問題でしたが、正解は！！

いつ頃かははっきりしていません(´_`´)というのも、近世になってから便宜的につけられたものなんだそうです。

～ちよと一息～

長崎は「階段の街」「坂の街」などと聞いたことがある方も多いのではないのでしょうか？坂が多いことから、自転車に乗る人が少なく、原付バイクが多いんだとか。登録台数が多いせいか、ナンバープレートの登録番号が5桁になっています。



こころを癒す、あぶくまの旅

～あぶくま地域の美しい桜と風景を紹介するHPを開設しました～

福島県県中建設事務所では、あぶくま地域を代表する桜の名木・名所を紹介する「桜回廊あぶくま」と、美しい風景を紹介する「ふるさと回廊あぶくま」のホームページを開設しました。

このホームページは、阿武隈中部地域8市町村の共通の地域資源である桜や風景を広域的に紹介することで、地域間交流の促進や訪れる観光客の方々への情報提供を目的としております。なお、作成に当たっては、各地域の桜保存会や愛好会、観光協会等と懇談会を開催し、写真や各種情報の提供等でご協力をいただきました。

ホームページには、美しい桜や風景の写真や紹介コメントとともに、アクセス道路や駐車場情報等を掲載、各市町村や観光協会、農産物直売所等のホームページともリンクしておりますので、美しい自然やおいしいものを巡る「あぶくまの旅」のプラン作成にご活用下さい。

ふる里回廊あぶくま

～美しい風景を求めて～

県中版

各風景の名称をクリックすると、詳細をご覧頂けます。

ホームページアドレス

<http://www.pref.fukushima.jp/kenchu/kensetsu/>

三春町観光協会、さくらの会との懇談会

名称をクリックすると詳細をご覧になれます。

すばらしいまち写真コンテスト★作品募集中★

すばらしいまち 写真コンテスト



～いいまち撮ろう～

募集要項

「まちと人」部門

皆さんが住んでいる「まち」で
すばらしいと感じた人々の表情や
「まち」と「人」と「緑地」の
かわわりを題材とした写真。



平成19年度福島県庁賞
「まちと人」部門 最優秀賞

「まちの風景」部門

皆さんが住んでいる「まち」で
美しい、すばらしいと感じた街並み、
道路（緑地、小径）、公園などで
人々の生活が感じられる写真。
◎注意
単なる風景写真ではありません



平成19年度福島県庁賞
「まちの風景」部門 最優秀賞

小・中学生からのご応募もお待ちしております！！

締切 平成19年8月31日

まちづくり推進グループでは、「ともに考え、ともにつくり、ともに育むまちづくり」を推進しています。

主催 福島県

【主 旨】 まちづくり月間（6月）を契機に、県民の皆さん一人一人に自分たちのすばらしい「まち」（自慢できるまち、誇れるまち）を改めて見つめてもらい、これからの「まち」のすがたを考えるきっかけづくりを目的に、皆さんの視点から見たまちの写真を募集します。
特に、次代を担う児童・生徒のみなさんからの応募をお待ちしています。

【テーマ】 「まちと人」「まちの風景」

【募集要項】
サイズ 四つ切り（ワイド四つ切りも可）又はA4判（カラー、モノクロは問いません。デジタルカメラ可。デジタルカメラの場合光沢紙使用。）
応募期限 平成19年8月31日まで送付されたものを対象とします。
審査・発表 別途組織する審査会で審査いたします。
表彰・展示 平成19年9月中旬に入賞者本人に通知します。
使われ方 今後開催する、まちづくりシンポジウムで表彰・展示します。
他のホームページ「うつくしま、まちづくり情報発信局」に使用する他、まちづくりの広報資料として広く活用されます。

【応募上の注意】
・応募作品は、福島県内で撮影した未発表の自作品に限ります。1人何点でも応募できます。（縮写写真は不可。年齢制限はありません。）但し、入賞作品は部門にかかわらず応募者1人1点とします
・応募作品は、原則として返却いたしません。
・撮影現場に存在しない被写体を加工するなど、画像合成処理をした作品は受け付けません。
・応募いただいた作品の使用権は主催者に帰属します。
・写真に肖像権を有する人物及び建造物等が含まれている場合、応募者本人が公衆の承認を受けた上で応募してください。
・募集に際して、提供いただいた個人情報本写真コンテスト以外には利用いたしません。

【賞】

「まちと人」部門	「まちの風景」部門
最優秀賞 1点 賞状、記念品、副賞	最優秀賞 1点 賞状、記念品、副賞
優秀賞 2点 賞状、副賞	優秀賞 2点 賞状、副賞

※小・中学生の方には、上記最優秀賞・優秀賞のほか、**特別賞（各部門1点）**をご用意しております。

【応募先・問い合わせ先】
福島県土木部都市領域まちづくり推進グループ
〒960-8670
福島市杉妻町2番16号
電 話 024-521-7510
FAX 024-521-7956
E-mail machizukuri@pref.fukushima.jp
ホームページ うつくしま、まちづくり情報発信局 http://www.pref.fukushima.jp/machi/

【応募用紙】 写真の裏面にお貼りください。（コピー又は自作したもので結構です）

すばらしいまち写真コンテスト応募用紙

テ マ	まちと人	まちの風景	どちらか〇を付けてください	カメラの種類（下記のどちらかに〇を付けてください）
題 名				フィルムカメラ
住 所	〒 - -			デジタルカメラ
氏名・年齢	（ 歳）			写真の説明（具体的な撮影状況を記入してください）
電 話 番 号				
職 業				
学校・学校の種別	（短期） 大 学 年			
学 校 名・学年	学 校 年			
撮 影 年 月	平成 年 月			
撮 影 場 所	福島県 市（郡） 町（村）	大字	字	地内

6月のまちづくり月間を契機に、県民のみなさんひとりひとりに自分たちのすばらしい「まち」を改めて見つめてもらい、みなさんの視点から見たまちの写真を募集しています。みなさんからのたくさんのご応募、お待ちしております！！詳細は下記のホームページよりご覧下さい。 URL <http://www.pref.fukushima.jp/machi/>

編集者ひとりごと

お気づきの方もいらっしゃると思いますが・・・『うつくしま、まちづくり推進レポート』が『まちづくり瓦版～うつくしま、まちづくり推進レポート～』となり、新たにスタートしました(^-^)/

福島県内や全国のさまざまな「まちづくり」の形をご紹介します！！

これまで同様、よろしく願いいたします<(_ _)>

編集後記

「まちづくり瓦版～うつくしま、まちづくり推進レポート～」(Vol.26)はいかがでしたでしょうか？これからも皆様と一緒に、より充実したものにしていきたいと思っておりますので、取り上げてほしい事例や写真、ご意見・ご感想などございましたら遠慮なくお寄せ下さい。

メールマガジン（無料）の申し込みをご希望される方は、
1. 団体会社名、2. 氏名、3. メールアドレス、4. 電話番号等（送信エラーの際のご連絡のため）、よろしければ、
5. 性別、6. 年齢を記入の上、まちづくり推進グループのメールアドレスまで希望する旨ご連絡下さい。

登録された方には、レポートの更新情報などをメールにてご案内いたします。

【発行元】

福島県土木部都市領域まちづくり推進グループ
〒960-8670（住所記載不要）

TEL 024-521-7510

FAX 024-521-7956

e-mail machizukuri@pref.fukushima.jp

URL <http://www.pref.fukushima.jp/machi/>

